



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 日米協ギ(委)(議事録 外務省外交史料館レファレンス番号 : H220662)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(2)No.2 公開日 : 平成22年11月26日 外務省外交史料館管理番号 : A'.3.0.0.7-1(158) CD・DVD番号 : H22-005
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43721
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

議事録

①

②

秘
無期限

神繩に關する協同協議委員会
試事録

昭和40.11.4
北米局北米課

日時 昭和40年11月2日午前11時半
場所 外務大臣接見室

1. 椎名大臣(試事)より、協同協議委員会
の南会を宣し、ライマワ大使の発言を求めた。

2. ラマワ大使は、まず、ネピア-米民政府
別院政管を紹介、同別院政管は1966年度

日本政府の対神繩援助に關する詳細を説明し、
~~計画一覽表を提出するに必要とす~~
~~と述べ、~~

~~存する者~~ 挨拶し、
~~計画一覽表を~~ 外務大臣よりライマワ大使
に提出せられた。

3. 椎名大臣は、技術委員会社長である

ネピア-別院政管に対し歓迎の意を表し、
別院配布した今日の議題につき、米側の意見と

求めたに対し、ライマワ大使は、米側として
本議題に異存ない旨答えた。

4. ついで椎名大臣は、今日の委員会は、
去る10月29日から那覇で開催された技術委員

会における検討の結果作成された来年度日本政
府の対神繩援助に關する計画一覽表を討議す

ることが目的であると述べ、ネピア-別院政管に
計画一覽表の提出を求めた。

5. ネピア-別院政管は、^{来年度}日本政府対神繩
援助計画一覽表を椎名大臣よりライマワ

大使に手交、椎名大臣は一覽表の技術委員会
において極めて短時間内に作成されたことについて

○ 米セコア-技術委員会議長 に対し 技術委員会
 関係者の努力に敬意を表し、本日提示
 された計画一覽表を日本政府の予想援助計画
 と見做し、昭和39年4月25日付交換公文
 ○ 二項(c)に規定されている内容的措置は、^{「必要事項」}
 留保を付した上で、同意するものである
 ○ 述べ、米側も同様の了解を以て本予想援助
 計画に同意することを記し、ライセマワ-
 ○ 大使の同意を得た。
 6. 椎名大臣に 以上において来会計年度
 日本政府の予想援助計画は合意された旨を述べ
 在り、昨年は協成委員会において日本政府の
 援助計画を上上げた最初の年であったが
 極めて早期に合意された。今回 ~~再~~
 GA-6 外務省

○ ~~早急に~~ 昨午にも6週間も早く合意が
 達成されたことは、日米間の協調体制が
 昨午に一層の進展をみられたことの証左とし、
 特に喜ばしいと述べ、ライセマワ-大使の
 ○ 発言を求めた。
 7. ライセマワ-大使は、本日米セコア-副元
 政官に提出した来年度の日本政府の対神羅
 援助に関する計画一覽表に対し、日本側が
 満足の色を表明されたことに感謝する。技術
 委員会が達成したこの業績は、委員会の友好的
 協力と能力を反映しているものであり、その努力
 力と献身的精神に対し感謝したい。今回の
 援助額は昨年の約倍であるが、これにも
 かわらず、^{「必要事項」} 今、椎名大臣 ~~再~~ 6週間
 GA-6 外務省

も早く達成したことは、我々の協同精神
を以て琉球の米米施政という現実に対処
（このことを表していると思ふ）を述べた。
8. 椎名大臣はラバール大使の挨拶に對
し、謝意を表し、安井総務長官の発言を
求めた。
9. 安井総務長官は、本年は佐藤総理の
沖縄訪問であり、又、援助額を本年より倍額
に達成し、しかも数多くの新規事業とあり、
よき、日本政府の対沖縄援助費は質量とも
従来になく充実した。
明年度の日本政府の対沖縄援助費は
米側援助の増額と相対して沖縄住民の民生福
祉の向上と、沖縄と日本本土の相当量の格差

解消に大きな前進をもたらすものと望むが、今回の
協試委員会が自分が要望した琉球施政の
強化、住民生活の充実、海陸制限の緩和等、
経済援助以外の沖縄施政上の諸施策に
ついて引続き米側の善処を希望し、最後に
米側が5回協試委員会が米側から提案のあった
沖縄産業に對する日本側の融資については
今後政府部内にて更に検討を続け、結論を
得次第、協試委員会にお知らせし、述べ
て挨拶を終った。
10. 安井長官の発言を終って椎名大臣は、
新聞発表に同じく協試し、先置きし、
又、その事務当局間にて作成した発表案は昨年
刊載の詳細な説明を合致したものとなっていること

○ フォロ、米側の意見と協議したのに対し、ラベセー
大使は、本案とあり、詳細な体系とともに

○ 発表するとは好ましいと思うが記者会見の際
に今日の討議の内容はフォロ何らかの領内

○ あった場合は、今日の会合では ~~agenda~~ ^{アジェンダ} 議題
の議題の討議はなされた ~~こと~~ ^{こと} を明らかに

○ する必要があらうが、と述べ相名
大臣はこれを了解した。

○ 11. 最後は相名大臣は、今日の協議が
円滑に進んだことに対し出席者の協力を感謝

○ した上、閉会を宣した。

裁
無期限

タイプ指示	発信用	執務用	計
主 信	—	—	2
付	2	—	—
戻	—	—	—

発送日 昭和40年11月16日
 発信 〇 タイプ 校 査 〇

文書課 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 番 号 米 北 第 1379 号 公 信 日 付 昭和40年11月16日 口

大 臣 政 務 次 官 事 務 次 官 外 務 審 議 官 官 房 長	主 管 北米局長 参 事 官 北米課長	起 案 昭 和 40 年 11 月 16 日 起 案 者 後 野 電 話 番 号 444
受 信 者 在 米 武 内 大 使	発 信 者 権 名 大 臣	
写 送 付 先	(希 望 発 送 日) 月 日	
件 名 神 繩 12 國 打 米 8 回 協 議 委 員 会 9 試 事 録 送 付		
16 187		
GA-2	外 務 省	回 覧 番 号

米北中1379号

昭和40年11月16日

在米大使殿

外務大臣

神繩口園村松岡協談委員会

の議事録送付

本件会議の關係資料は既に11月8日付

米北中1336号を以て送付済であるが、当日の

会議議事録を参考として送付する。

附属物添付